

ビフォー  
アフター

# 行事振り返りシート

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、体育祭や文化祭など生徒主体の行事での成長を生徒自身が振り返るための「行事振り返りシート」について検討する。

検討会メンバー



岡山県・私立  
岡山中学校・高校  
**鷺見香織**  
すみ・かおり

教職歴16年。同校に赴任して11年目。高校3学年主任。「人に優しく、己に厳しく、勉強はたゆみなく。」



愛知県立  
東海商業高校  
**新美廣勝**  
にいみ・ひろかつ

教職歴24年。同校に赴任して2年目。進路指導主事。「自分への自信と母校への誇りを持った、社会に愛される生徒を育てたい。」



福岡県立  
東筑高校  
**辻本貢士**  
つじもと・きんじ

教職歴18年。同校に赴任して8年目。キャリア教育部進路指導班主任。「生徒たちは鏡である。我々の学びへの姿勢が常に問われている。」

検討

## 仲間との協働の視点を大切にし、自身の成長を深く自覚させたい



**鷺見** 本校の生徒は、行事の感動を、振り返りシートに真摯に書き



**新美** 仲間の姿を通して自分を振り返らせようというのはとてもよ

込みます。せっかく素晴らしい言葉が生徒からあふれているのだから、それを**行事後の生徒の行動にもっと還元させたい**と思っています。行事が終わると、学習へと素早く気持ち切り替えることが求められますが、行事で得たそれぞれの気づきを、その後の高校生活に生かせるようなシートにしたいです。



**辻本** なぜ、あの人はそんな行動をしたのか、自分ならばどう行動したかと、自分と他者を置き換えながら自分を見つめることは大切です。また、仲間のよいところを実際に言葉にすることは、クラスに対する信

いですね。就職希望者の多い本校では、行事の中で協働する力を育成することは重要な教育目標の1つです。自分のことだけではなく、周囲の努力にも目を向け、感謝したり、自分を見直したりする心を育み、その後の高校生活、そして卒業後へとつなげたいですね。

頼感の醸成につながるでしょう。**鷺見** 他者の視点で自分を見ること、つまり自己を対象化する力は、行事や教科学習など、高校での様々な活動を通して身につけさせたい力です。

**辻本** よりよい対象化のためには、ただ感覚的に周囲と比較するだけでなく、**そもそもこの行事で自分はどうな成長を目標にしていたのかを考**えることが重要ですよ。目標は、生徒の興味・関心、与えられた役割、立場によって異なります。行事前に自分の目標を確認させ、さらに振り返りシートを事前に配って、生徒に振り返りの観点を示しておくとういと思います。振り返りを充実させるためにも、事前指導にもひと工夫したいですね。

岡山県・私立岡山中学校・高校 鷲見香織先生 「行事振り返りシート」

自分の成長を振り返らせるのが(3)の項目だが、生徒の中には多様な経験をしているにもかかわらず、自分を肯定することをためらい、「特になし」と答える者もいるという。そのため、あえて他者の視点を持ち込み、聞いているのが(5)だ。

ねらいと機能

「自分自身」「仲間」の2つの視点で行事での成長を振り返らせる

一つひとつの行事において、「面白かったか」「盛り上がったか」だけでなく、行事を通してどう成長したのかまで自覚させるため、「自分自身」「仲間」の2つの視点で振り返るシートを運用している。「自分自身編」では、できるようになったことなどを振り返り、「仲間編」では、仲間のよかったところを見つけるとともに、自身のチームへの貢献内容を分析する。この振り返りを、行事後の高校生活の充実につなげることが今回のテーマだ。

■自分自身編

文化祭・体育大会を振り返る name( )

【自分自身編】  
あなた自身は今年度の文化祭で、どのようなことをしましたか？(クラス参加や部活動での役割・委員会での働き)

体育大会で、どのようなことをしましたか？

(1) 文化祭・体育大会を通じて(準備・片付け)、印象に残っていることありますか？

(2) 楽しかった瞬間、自分自身を誇りに感じた瞬間はいつ、どんな？

(3) 自分が活躍(発揮)できた瞬間はいつですか？どんな力を発揮しましたか？

(4) 文化祭・体育大会後の自分は、これまでの自分と、何か違いがありますか？

(5) 行事を通じて誰かに言われて嬉しかったこと、意外だったことは？

仲間編では、自分が所属した集団の特徴や、その集団の中での自分の役割を振り返らせる。(5)では担任がホームルームなどで語った言葉、クラスの目標や理念を踏まえたことを書く生徒がどれだけいるかを、鷲見先生は特に注目するという。

ビフォー

■仲間編

【仲間編】  
(1) [準備 ~ 活動中 ~ 片付け ~ その後]にわたって、彼が彼女が頑張っていた！輝いていた！知らないけど、実は支えてくれた、その人を教えてください。

\_\_\_\_\_さんが \_\_\_\_\_ してくれてよかった。を、がんばっていた。

(2) 上とは逆に、こういう奮闘は減った方が良くなると思うのは、どのような「よくない奮闘」ですか？

(3) 仲間の中で、自分はどんな役割を果たしていましたか？

(4) S-チームや仲間と協力して、お互いを成長させるためには、どのようなことが大切ですか？

(5) チーム仲間とは、これから、どんなチームに成長していきたいかと思いますが、そのために、あなたは何をしますか？みんなは、どんなことをするべきですか？

課題と解決策

- 3 他者の行動を振り返りながら、自分の成長を掘り下げていく機能は今後も持たせたい。
- 2 各行事でのどのような目標を掲げ、どのような成長を期待するか、生徒が事前に言語化する機会を設ける。
- 1 振り返りシートの項目を事前に示すことで、行事での成長はどんな観点で確認できるのかを生徒が理解し、行事への取り組みがより充実する。

**新美** 事前に振り返りシートを見せることで、「これから取り組む行事には、こんな観点が必要なのか！」と気づかせることができますね。「行事を振り返って気がついたこと」といった大きなテーマで振り返らせると、きちんと内省できる生徒もいれば、「まずこれをした、次にこれをした」といった経過報告に終始する生徒もいます。生徒に気づきを促すような教師の誘導的な項目の設定が必要です。

**鷲見** 生徒によって、自分が求めるものと周囲から期待される役割が異なる場合があるからこそ、自分の成長をきちんと評価できるよう、意気込みや期待する自分像を言葉にさせることは確かに大切ですね。

学校プロフィール

岡山県・私立岡山中学校・高校

◎全日制/普通科/共学/1学年約150人  
◎2016年度入試合格実績(現浪計)/国公立大は、北海道大、東京工業大、大阪大、岡山大、九州大などに42人が合格。私立大は、上智大、早稲田大、同志社大などに延べ111人が合格。

愛知県立東海商業高校

◎全日制/総合ビジネス科・情報科(1年次は両科共通のカリキュラム。2年次より分かれる)/共学/1学年約320人  
◎2016年度進路実績(現役のみ)/4年制大学進学41人、短大進学19人、専門学校進学69人、就職180人。

福岡県立東筑高校

◎全日制/普通科/共学/1学年約320人  
◎2016年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、東京大、京都大、大阪大、九州大などに216人が合格。私立大は、早稲田大、同志社大、立命館大などに延べ230人が合格。

検討会で明らかになった課題を踏まえ「行事振り返りシート」を改良！次ページで紹介します。

# アフター

## 行事振り返りシート

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 氏名 \_\_\_\_\_

行事の前に記入

学年や  
クラスとしての目標

①

②

①を達成するための  
自分の発揮したい力  
や意気込み

行事前に目標や意気込みを書かせる。この時、担任が「この学年における行事の意味（前年度との違い）」をメッセージとして①に明記すれば、生徒はより具体的に目標をイメージできる。

### 「仲間」から考えてみよう

①で書いたことはどのくらい達成できただろうか。みんなで頑張ったこと、できたことを思い出しながら、達成度合いを考えてみよう。

準備から活動、そして片づけまで、「頑張っていた」「輝いていた」「みんなを支えていた」という人を挙げよう。

名前	頑張っていたこと
<input type="text"/> さんが	<input type="text"/>
<input type="text"/> さんが	<input type="text"/>
<input type="text"/> さんが	<input type="text"/>

学年やクラスの仲間たちと一緒に活動する中で、自分自身について気がついたこと、考えたこと、悩んだことを書こう。

今回の経験から学んだことは、これからの自分の生き方、学び方、働き方などにどんな影響を与えるだろうか。考えてみよう。

〈生徒が記入〉

### 「自分自身」から考えてみよう

②で書いたことはどのくらい達成できただろうか。自分が頑張ったこと、できたことを思い出しながら、達成度合いを考えてみよう。

左に挙げた仲間たちと、その時の自分を比べて、「同じだな!」と共感したり、「ここは自分と違う!」と思ったりしたことを書こう。

仲間と自分を比べて考えたこと

振り返っている中で気がついた「自分の持っている強み」「今後伸ばしていく余地がある（伸び代がある）力」はどんなものだろう。

〈教師が記入〉

自己を対象化しやすくするために仲間（他者）と自分の行動力を比較しながら振り返りができるよう、「自分自身編」と「仲間編」を1枚のシートにおさめ、横並びにした。

今回学んだことが今後どう生きていくか、生徒に書かせると同時に、教師が1人の社会人、人生の先輩として、生徒が得た力が今後どう生きるかをメッセージとして書き記し、生徒にフィードバックすることもできる。

改訂後のねらいと機能

目標を明確にした振り返りで3年間のつながりも強化

振り返りシートの一冊の大きな改訂は、行事の前に生徒個々に目標を設定させるという点だ。学校や学年、クラスの目標を踏まえた上で、一人ひとりに発揮したい力や、意気込みを書かせる。目指す自分像を明確にしておくことで、行事後の振り返りをより客観的なものにする事ができる。「目標がしっかり定まっているからこそ、行事がやりっ放しにならず、3年間を通して試行錯誤しながら生徒が成長できる」「振り返りシートを3年間活用することで、前年の経験も踏まえて、次年度、生徒は新たな目標を設定できる」と検討会の先生方で意見がまとまった。

また、シートの機能が向上するほど、面談の重要性が高まってくるという指摘もあった。特に3年生は、受験校決定の話だけでなく、行事での生徒の成長を少しずつ会話に組み込むように学年団で共有しておけば、「行事での成長を先生は見てくれている」と、受験本番に向けた信頼関係の醸成につながることも期待できる。



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<http://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」でご覧ください。

活用

# 自己を対象化するために 行事の目標を個別に設定させる



**驚見** 文化祭や体育祭などでは、生徒会が主導してテーマを決めて

がさらにブレイクダウンして、行事で発揮したい力や行事への意気込みとしてあらかじめ目標設定させてみたいのです。例えば、「今年の体育祭のテーマは『壁を越えろ！』だけれど、自分にとって、『壁を越える』とはどういうことだと思おう？」などと問いかけ、生徒に自分像を語らせることから始めるのです。



**辻本** 行事では、毎年同様の趣旨のテーマが掲げられることもあり

ますが、学年によって、またクラスの状態によってそのテーマの受け取り方は異なりますし、体育祭や文化祭も3年間繰り返すことで、高校生としての成長が完成に近づくわけです。各学年における行事の意味を担当が自分の言葉で語ることは、生徒が目標を具体的に設定するために欠



**新美** 前年度の行事で、先輩がどんな感想を持ったのかを見せるこ

とも、生徒個々の目標設定の参考になるでしょう。生徒にとっては、先輩や同級生の言葉は、思考を深めるときっかけとしてとても有効です。その意味では、1人で考えて記入するだけではなく、グループで話し合うことで他者の視点の持ち方を学ぶことができ、より深い振り返りが可能かもしれません。

**驚見** 行事を通して自分で気づいたことだけでなく、仲間と振り返る中で気づくこともありそうですね。自分の気づきと仲間から得た学びを関連づけ、自分自身を掘り下げやすくする構成を考えたいです。その中でも、自分を肯定する要素を大切に

にして、その後の学習や



進路選択につなげさせたいです。

**辻本** 肯定感を大切にしたり振り返りシートならば、教師は「今伸びている」という生徒を見つけやすく、成長を後押しする面談のチャンスが増え、教師の喜びも大きくなります。

**新美** 本校では、行事での成長が社会でどう生きるか、採用面接を想定して語らせていますが、生徒がどんな部分に肯定感を持っているのかを把握することで、面接も一層充実するでしょう。

**辻本** 時には、「社会でどう役立ちそうか」と尋ねられた時、「こう答えれば先生は満足するだろう」とあたり障りのない答えでその場を乗り

切ろうとする生徒もいるでしょう。

生徒がそのように小さくまとまろうとしている時こそ、「こんな考え方もある」と教師が別の角度から刺激することも大切です。生徒が書いた内容に一言でも教師からのコメントを返すようにしたいですね。

**驚見** 行事が終わったら、行事のことはすべて忘れて気持ちを切り替えさせようとしたこともかつてはありました。しかし今は、**得たこと、成長したことを対象化しながら整理した方が、結果的にスムーズに次の行動に切り替えられるように思います。** 成果を未来につなげる振り返りを、校内でさらに検討します。

## 活用の流れ

1 行事前に、今年度のテーマや教育目標を示した上で、生徒個々の発揮したい力や意気込みなど、自分の目標を書かせる。

2 行事後に、他者（仲間）と比較しながら振り返り、自己を対象化する。

3 振り返らせた内容を踏まえ、今後の展望を書かせる。教師は、生徒個々にフィードバックする。